

# 笑顔のひろば

とりで障害者協働支援ネットワーク

第93号

1面：年頭の挨拶／第76回定例会報告／第77回定例会開催案内 2面：障害者のための防災訓練／取手市福祉まつり～笑顔のひろば～ 3面：障害者の“働く”を考える講演／バリアフリー探検隊／映画 4面：ネットワーク参加団体からのお知らせ(チャレンジの広場・取手聴覚障害協会)／連絡先／会員募集



## 年頭の挨拶

新年おめでとうございます。

昨年も皆様各団体のご協力の下、定例会、イベント等無事に終えることができありがとうございました。今年も皆さんとの意見交換、知恵を出し合いながら活動を進めていきます。ネットワークの存在は皆さんとともに誰もが共存できる社会を目指すことにあります。簡単ではありますが新年のごあいさつとします。

今年もよろしくお願いいたします。

(染野 記)



## 第76回定例会報告

10月14日(火)10時より第76回とりで障害者協働支援ネットワーク定例会を開催。会場を福祉交流センター多目的ホールから、取手市議会議会棟大会議室をお借りすることとなり、議会事務局や職員の皆様に大変お世話になり開催することができました。行政からの報告の後、夏休みこどもボランティア講座、障害者のための防災訓練の開催報告、今後行われる福祉まつり、12月の障害者週間行事についての概要紹介が行われ、参加者の皆様の近況報告等を共有する定例会となりました。(阿部 記)



## 第77回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日時 2026年(令和8年)1月27日(火)10:00~12:00
- 場所 取手市福祉交流センター 会議室 会議室AB
- 議題 行政からの報告/ネットワークからの報告/情報交換 その他

# 第12回障害者のための防災訓練

9月13日に障害者のための防災訓練を開催しました。

来場者は少なかったものの、とても充実した訓練だったと思います。

新たな体験として県から災害体験VRをお借りして、来場者全員に試してもらいました。とても迫力があり怖さを体験できたとの感想が多かったです。

響の方が多く来てくれて喜ばれたのは嬉しかったです。大変だけど、来年も頑張りましょう！



(宮脇 記)

## ●取手市福祉まつり～笑顔のひろば～●

10月25日(土)福祉交流センター全館・議会棟下駐車場、勤労青少年体育センターを会場に開催いたしました。取手市健康福祉部・取手市社会福祉協議会・とりで障害者協働支援ネットワーク・ボランティアサークル等で実行委員会を組織して当りました。天気が気がかりでしたが、1,100人の老若男女の方々の参加が得られました。メイン会場内では手工芸体験、点字体験等。多目的ホール内では特別講演【CODAにマジシャンって何なのさ!?～2つの世界にいる自分と社会への願い～】と題して、小林重雄氏がマジックを交えながら講演。前向きに全てを受け入れて生きる姿に感銘を受けました。初めて参加の白山お囃子クラブ・いばらキッズのWAを迎えてのアトラクションの数々でした。



松陽高等学校吹奏楽部の元気溢れる演奏等多くの感動をいただきました。会場前は障害者施設の自主生産品等の販売また体育センターでは「卓球バレー体験」「子供コーナー」「あいサポートコーナー」開催。「模擬店」の食べ物も好評。「久しぶりのスタンプラリー」を体験した景品は、市内就労継続支援B型事業所や障害者施設の製品他でした。

今回も実行委員の積極的な参加意識が成功に結びつけたと確信しています。反省や改善の点これらを生かし次回に結びつけていきたいと思えます。寒さに負けず笑顔があふれた一日皆様ありがとうございました。(武藤 記)



## <第14回就労講演会 障害者の

### “働く”を考える>講演会「障害者の働く

を考える」が、令和7年11月1日(土)、13時30分～、取手市福祉交流センターで60名の方にご参加頂き開催されました。講師は、NPO法人らしん盤そよかぜの菅野施設長、他5名の方にご登壇頂きました。講演内容は、令和7年10月から開始された就労選択支援サービスの要点(本人の希望、就労能力や適性等にマッチした就業を選択できる様に支援する新たなサービス)、そよか

ぜで実施している相談支援サービスの種類と現況、障がいがある方が就労するための要素として、①安定して働ける身体的・精神的な体力を身につけること、②合理的配慮について相談で

きること、③協働性を育み、人と共に働く力を身につける必要があること、また、そよかぜの支援者は障がいがある方がやりたい仕事を選べるように、働きたいが働いているに変わるためのプロセスを支えながら伴走していること、更に利用者の働くに向けての支援活動を通して得られた体験談などもご披露頂きました。精神的な体力をつけるために必要なストレス対処法についても分かり易く説明して頂き理解が深まりました。参加者の方から、今まで仕事が長続きせず上手く行かなくて悩んでいたが、どうして上手く行かなかったか講演を聞いて分かった様な気がします等のコメント頂きました。障がいがある方もご家族にとっても就労を考える大変良い機会になりました。講師をつとめてくださったそよかぜの皆様、ありがとうございました。

(藤巻 記)

## 障害者週間 **バリアフリー探検隊**

【その高さで見ないと分からない — 車いす体験で感じたバリアフリー】



とりで障害者協働支援ネットワーク主催「バリアフリー探検隊」に、今年も参加しました。気づけば 12 年目の参加になります。

今年は、寺原駅から取手駅まで、実際に車いすに乗って移動する体験。

頭で理解しているつもりでも、実際に車いすの目線で動いてみると、「ここが障害になる」というポイントが、はっきり見えてきます。

「知っている」と「体験した」は全く違う。

本当のバリアフリーは、その目線・その高さ・その感覚を知ることから。

常総線・取手駅では車いすでのエスカレーターの乗降方法を実際に見学。その後、再開発で新しくなった取手駅のエレベーターや、リボンとりで・西友前の横断歩道の段差改善について、染野さんの丁寧な説明を聞きながら一つひとつ確認しました。

ちょっとした違和感に気づける目と感性、さりげなくそっと寄り添える柔軟さを身につけたい。支えるのではなく、安心を邪魔しない関わり方を選べる人でありたい。

そんな気づきと学びをありがとうございます。

(吉川 記)



## はる 上映会 **杳かなる**

障害者週間 上映会

映画のようないま—  
沈黙を照らすものはあるか？

主演 佐藤裕美 岡部宏生

上映日時 令和7年12月7日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

会場 取手市福祉交流センター (取手市役所本庁舎敷地内) 多目的ホール

料金 無料 予約申込: 不要 となたでも参加できます

主催: とりで障害者協働支援ネットワーク 共催: 取手市社会福祉協議会 後援: 取手市

お問い合わせ: とりで障害者協働支援ネットワーク E-mail: toride\_ssknet@gmail.com

ネットワークが主催する障害者週間行事の一環として 12/7(日)、映画「杳かなる」の上映会を取手市福祉交流センター 多目的ホールで開催し、40 人の方に参加いただきました。映画は 2018 年に ALS の確定診断を受けた主人公の一人である佐藤裕美さんが、知人を通じて同じ病を抱える岡部宏生さんと知り合った。岡部さんは 48 歳で ALS を発症して 18 年。呼吸苦のために気管切開をして人工呼吸器を装着し、声を失っているため、文字盤を通して言葉を伝えていた。病気の不安を吐露する裕美さんに、岡部さんは、「生きることを一緒に考えたい」と言った。映画では ALS 患者の不安や葛藤、そして生と死に向き合う姿だけでなく、他の ALS 患者との出会い、家族や介助者との関わりなど明るい日常の側面も含め様々な様子が淡々と描かれていました。

私は ALS がまさに自身で生か死か(人工呼吸器をつけるかどうか)選択を迫られる過酷な病

気であることをこの映画で初めて知りました。大変な生活を維持していく様子も少し知ることができました。また介助者の方が楽しく仕事に打ち込んでいる姿に感激したり、当事者家族の思いには思わず目が潤んだり、感じる事が様々ありましたが、この映画に「生きることを一緒に考えよう」と問い掛けられ、「色々あるけど精いっぱい生きましょう」と励まされたように思います。  
(高山 記)

## ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ

### 《チャレンジの広場》

12月14日(日)に今年最後のチャレンジの広場を取手市福祉交流センターで開催しました。雨模様だったので参加人数は少なかったです。競技はボッチャ、車椅子スラロームを行いました。



ボッチャは経験者が多く、レベルの高い試合が印象的でした。後半の車椅子スラロームは、車椅子に乗ったことのない人もいましたが、車椅子操作の練習を行い、本番では両チームとも大盛り上がりでした。

最後になりましたが、今年一年、ご参加、ご協力いただいた参加者の皆様のおかげで、無事に終わることが出来ました。

ありがとうございました。(勝山 記)

### 《取手市聴覚障害者協会》

取手市聴覚障害者協会は、手話という独自の言語をもつ当事者による市民団体です。かつて手話は福祉の文脈で語られてきましたが、現在では言語としての理解が求められています。しかし、その認識は社会に十分浸透しているとは言えません。当協会では、手話言語への理解促進や情報保障の啓発を通して、誰もが地域の中で対等に参加できる環境づくりを目指しています。これは福祉分野にとどまらず、防災、教育、まちづくりなど、幅広い分野と関わる課題です。こうした取り組みは、障害者権利条約が掲げる「社会の側が変わることで、誰もが参加できる社会をつくる」という理念とも重なります。次のろう難聴世代につなぐため、当事者だけでなく聴者を含めた多様な立場の方々と協働しながら、地域での実践を積み重ねていきたいと考えています。今後も、とりで障害者協働支援ネットワークの皆さんと連携しながら、互いの立場や専門性を尊重した協働を広げていければ幸いです。  
(上山 記)



#### 《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。

寄付金についてもよろしくお願いします。

○会費(年額)

(1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上  
個人1口 500円 1口以上

(2)賛助会員(団体・個人)  
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク

代表 染野 和成

とりで障害者協働支援ネットワーク会報

「笑顔のひろば」第93号

□発行: 2026年(令和8年)1月1日

□発行所: とりで障害者協働支援ネットワーク

□発行者: 染野和成

□編集者: 鈴木澄利 ネットワーク編集員

□連絡先: 取手市本郷5-4-21

E-mail: toride.ssknet@gmail.com

HP: <http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm>